

集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を

オール埼玉総行動実行委員会が運動を広げています



1月19日にオール埼玉総行動実行委員会の第4回実行委員会が行われました。小出実行委員長から「今年は戦後70年の節目の年。この年に集団的自衛権行使容認の閣議決定を許してはならない。埼玉から戦争する国づくりに反対する声を総結集していこう」と熱い訴えがありました。

実行委員会では、当面する2・3埼玉大集会を文字通り埼玉会館にあふれる参加者で成功させていくこと、そのためのとりくみを確認しました。また、続く5月31日には、北浦和公園で10000人を超える参加の大集会・パレードを開催していくことを確認しました。



第4回実行委員会が開催される

2・3埼玉大集会を成功させ、5・31大集会へつなげるとりくみを広げること、地域から団体から、草の根のたたかきをおこしていくことを確認しました。

安倍内閣が集団的自衛権の行使容認をする閣議決定を行いました。この閣議決定の撤回を求める一方で、「集団的自衛権を行使容認した閣議決定の撤回を求めるオール埼玉総行動実行委員会」が、多くの団体、県民の参加で10月31日に結成されました。実行委員会は、県内世論の結集をすすめる、運動の推進をはかるとりくみをすすめてきています。

安倍内閣は、次期通常国会へ閣議決定関連諸法案を提出し、成立をはかる意欲をみせています。実行委員会では、2月3日に「いのち平和憲法9条 2・3埼玉大集会」を開催し、県内各地での学習と抗議行動・宣伝活動の積み重ねを結集し、県民世論を強く大きくするとりくみをすすめています。通常国会に閣議決定関連法案が提出されることから、5・7月に緊迫した山場を迎えます。実行委員会は、引き続き5月31日には、幅広い県民各層が集う大規模な集会・パレードを計画し、「集団的自衛権を行使容認した閣議決定撤回」の声を結集し、埼玉県内外に大きく発信していくことをよびかけています。

集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める運動は、地域や様々な団体の中で旺盛にすすめられることが大事です。これまでの、地域や団体のたたかき、行動など

のとりくみを報告し合い交流もはかりました。地域から、それぞれの団体の中から、戦争をする国づくりにつなげる集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める声をあげていくこと、県内で無数のとりくみ、活動がすすめられることが求められていることも確認しました。

「みなさん一人ひとりの問題です！」
訴えに市民が共感

実行委員長先頭に浦和駅で宣伝

実行委員会の開かれた1月19日の夕刻、浦和駅頭で「2・3埼玉大集会」を知らせるチラシを配布しながら宣伝行動を行いました。実行委員長を先頭に元気よく市民に訴えました。

届けました。

本田宏副実行委員長が「戦争をする国になっていけば、お金が戦争に使われ、医療や介護などのお金がどんどんけずられていくんです。私たちのいのちやくらしがおよびやかされ、生きていけなくなるんです。一人ひとりみんなの問題なんです」との訴えに、「ベビーカーを押していた若いお母さんが引き返してチラシをうけとる光景も。多くの市民・県民へ訴えを

オール埼玉総行動
実行委員会 ニュース

No.1 2015.1.21

発行：オール埼玉総行動実行委員会
さいたま市浦和区高砂 2-3-10 黒澤ビル 2D
電話 048-814-1911 FAX 048-814-191

各団体のとりくみから

地域で、団体で、共同のたたかいが広がっています。実行委員会で各地のとりくみが報告・交流されました。



さいたま市緑区革新懇
菊地 博さん

地域で共同広げ 実行委員会つくる

さいたま市緑区革新懇は、24日に総会を行います。そのため区内の多くの団体・個人に参加をよびかけています。地域で共同のとりくみをすすめるため、6つある9条の会にもよびかけて、結集する団体といっしょに「緑区実行委員会」を2月11日に結成します。2・3集会には30人以上、5・31にはさらに共同を広げて地域から運動をつくり参加していきます。



越谷9条の会
飛山 幸夫さん

地域の団体がつながって憲法守れの たたかいが

越谷では、1月24日に憲法守ろう共同フェスタを行います。市内70数団体が集まり、それぞれ

れがブースを出してよびかけます。9条の会もブースを出して「9円コーヒー」のカフェをやります。フェスタでは毎年「大声コンテスト」があつて、平和や自由をそれぞれが思い思いに大声で叫んでいます。集团的自衛権行使容認の問題をマスコミの記者などにも訴えて、集团的自衛権の問題を取り上げるよう働きかけること、ネットを使って多くの市民・県民に事態を知らせていくことにとりくんでいくと思つていきます。



平和委員会
二橋 元長さん

あらゆるつながりに実行委員会のと りくみを広げる

平和委員会は、昨年10月21日に集团的自衛権の問題で集会にとりくんできました。その中で宗教者の団体とのつながりができました。これまで4つの団体と懇談をつづけてきています。「戦争をする国づくりは許さない」という思いは宗教者も同じだと共感を広げてきています。様々なつながり、あらゆる団体に実行委員会への参加をよびかけていくことが大事だと思つていきます。



日本共産党
伊藤 岳さん

一点共闘を広げる 運動を支えて

日本共産党は、埼玉で生まれ広がった一点共闘、オール埼玉総行動実行委員会の運動を大き

くし集会成功に向けて全力でとりくむことを決めました。さっそく1月11日の集まりでは参加者に2・3集会のチラシを配布し参加をよびかけてきました。日本共産党と結びついている県民に働きかけ、政党としてその一翼を担いたいと活動をすすめています。とりわけ集团的自衛権行使容認の問題を青年に訴えて、青年の参加がはかれるよう、ネットを利用したり、情報を拡散しながらとりくみを強めていくと考えています。



浦和生活と健康守る会
松田 和代さん

毎月宣伝で 市民の中へ

毎月北浦和駅で憲法守れの宣伝と署名にとりくんできていま

す。月1回の活動を1年以上続けてくると、青年、子どもたちからも、お母さんからも共感をもつてうけとめられて宣伝への協力も始まってきています。宣伝していると、安倍政権の暴走政治、とりわけ「集团的自衛権の問題などが心配だ、がんばってくれ」などの激励が寄せられてきています。生活とくらしを守ることに平和を守ることが一体のもので、頑張つて集会参加をすすめていきます。



新日本婦人の会
高田美恵子さん

戦争はいや！ 平和を守る女性の 声を集めて

平和を守ることは、私たちの活動の中心的なテーマになつて

います。集团的自衛権の問題も、「紙しばい」にして若いお母さんたちと学び・語り合っています。憲法について、「憲法カフェ」を行つていきます。いつも半数以上が若いお母さんたちが子連れで参加し、一緒に憲法についてどうなっているのかを学びあってきました。若い人たちの中で、「安倍さんこわい」「子どもたちが戦争にいくの」の声が広がっています。女性の平和を求める声を集めて集会に積極的に参加していきます。



民主青年同盟
安部 里美さん

青年は平和な未来 を求めている

今年も成人式の会場で宣伝をしてきましたが、成人になった青年に、「集团的自衛権を行使

する外交」か「9条を生かした平和外交」を選ぶかのアンケートにとりくみました。81%の青年が平和外交を望んでいる結果となりました。青年は、戦争のない社会に生きたいとの願いをもっています。若者が憲法集会をやりましたが、その時のパレードでは青年が次つぎに加わって500人が800人にくれあがっていました。青年のおもいを集团的自衛権行使容認の閣議決定撤回の運動に結びつけていきたいと思つています。